

## 社外取締役 サステナビリティ・ガバナンス セミナーのご案内

不確実性の高い現代社会において、企業が生き残りを図り持続可能な成長と社会への価値提供を行うには、ビジネスモデルのたゆまぬ変革が不可欠です。ビジネスモデル変革におけるリスクと機会の両面を考慮し、最適なバランスとなる経営の舵取りが求められる中、社外取締役が主体的に取締役会の強化・健全化に貢献することが期待されています。

そこで環境経営学会では「社外取締役 サステナビリティ・ガバナンス セミナー」として、社外取締役が自ら学び考え、自身の専門性を存分に発揮し取締役会の実効性向上に貢献できるよう、議論と気づきの場となる連続セミナーを行います。本セミナーではサステナビリティ・ガバナンスの視点から、社外取締役として果たすべき役割を少人数制で議論します。講師は環境経営学会の専門家が担当し参加者をさまざまな側面からサポートします。

また、毎回講座終了後に交流会を予定しています。参加者および講師とのネットワーキング・情報交換などを行います。現任の社外取締役だけでなく、将来社外取締役への就任を目指す方を含めて、企業のサステナビリティ・ガバナンスに関わる方々のご参加をお待ちしています。

### ■本セミナーが対象とする方

- ・ 現任の社外取締役
- ・ 社外取締役の候補者
- ・ 将来社外取締役への就任を目指す方

### ■概要

日時：2024年11月14日（木）、11月28日（木）、12月12日（木）

時間：16：00～18：00

会場：アカデミーセンター（国際文献社内）

住所：新宿区山吹町 358-5（有楽町線江戸川橋駅 1b 出口から徒歩 5 分）

地図：<https://bunken.co.jp/society/meetingroom/>

定員：10 名

受講料：5 万円（特定の日だけの参加の場合は、2 万円/日となります）

締め切り：2024 年 11 月 8 日（金）18：00

## ■プログラム

### ○第1回（11月14日）

自社のサステナビリティ課題の気づき -サステナビリティとガバナンスの本質-

講師 片山 郁夫

このセッションでは、自社(※)のサステナビリティ課題を発見し、企業のガバナンスとどのように統合すべきかを考察します。サステナビリティ経営の重要性や、ガバナンスの本質を理解し、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から自社が直面するリスクと機会に気づきを得ます。ワークショップを通じて、自社の統合報告書を基にサステナビリティ課題を特定し、他の参加者との議論を通じて新たな視点を見出す場を提供します。企業の長期的な価値創造を支えるガバナンスの役割を学び、実践的な知見を得る機会です。

※自社・・・社外取締役を務める企業のことです。現在在任企業がない方は特定企業を選定して参加ください。

### ○第2回（11月28日）

サステナビリティ課題にどう取り組むか -ビジネスモデル変革とサステナビリティ課題-

講師 木村 則昭

このセッションでは、時代背景を踏まえて企業がビジネスモデル変革に取り組む必要性について議論するとともに、ビジネスモデル変革の様々な要因と、ビジネスモデル変革がもたらす機会とリスクについて考察し、ビジネスモデル変革を行う際に欠かせないサステナビリティの視点について深掘りします。

また、ワークショップでは、自社にとって最も重要なサステナビリティ課題や、ビジネスモデル変革に伴う機会とリスクについての議論を通じて、自社の現状と課題について新たな気づきを得る機会を提供します。

### ○第3回（12月12日）

私（社外取締役）は何をすべきか -果たすべき社外取締役の役割-

講師 宮崎 智子

このセッションでは、サステナビリティ経営を事業成長につなげるための社外取締役の役割を考え、自身の「ありたい姿」を明確にすることを目指します。前半は、サステナビリティ経営に資するサステナビリティ・ガバナンスを概観した上で、取締役会が抱える課題について議論します。後半は、社外取締役がサステナビリティ経営のけん引に寄与するために必要な視点について深掘りします。最後に3日間のプログラムを通じて学んだことや気づきを踏まえて、「社外取締役として何をしていきたいか」を考え、発表（決意表明）して頂きます。

## ■講師プロフィール

### ○ 片山 郁夫 環境経営学会理事、立教大学ビジネススクール（MBA）特任教授、BO 企業監査役

1982年に安田火災海上保険（現・損害保険ジャパン）に入社し、営業や総務、CSR、広報、秘書部などで理事・部長を歴任。ビル管理会社取締役、リスクマネジメント会社監査役も務めた。現在は立教大学ビジネススクール（MBA）では企業論、ビジネスシミュレーション、論文指導を担当。専門分野は企業家史、経営理念、経営戦略、サステナビリティ経営。

○ **木村 則昭 環境経営学会 理事、Nick's Chain 代表**

1957年、宮城県生まれ。1982年上智大学外国語学部卒業後、2021年まで39年間カシオ計算機株式会社に勤務。入社以来約27年間はシステム商品の海外営業に従事。その後の約12年間はCSR推進室（後にサステナビリティ推進室）室長としてコンプライアンス及びCSR（サステナビリティ）のグループ内への浸透を推進。サステナビリティ実務の専門家。

○ **宮崎 智子 環境経営学会 理事、一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京 事務局長、跡見学園女子大学マネジメント学部 兼任講師**

1986年、三井物産入社。中部支社業務部、運輸部等を経て、サステナビリティ経営推進部にて非財務情報開示、ESG評価機関対応、ステークホルダーエンゲージメント、社会貢献活動などに従事。2023年に国際環境NGOの一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京（本部・英国）に事務局長として参画、世界各地の環境保全活動や生物多様性評価指標（IBAT）の普及に取り組んでいる。名古屋大学大学院経済学研究科後期課程単位満了退学 博士（経済学）

■ **申し込み方法**

ご参加希望の方は、下記のURLをクリックいただくか、QRコードを読み取ってください。

参加登録用のサイトが表示されますので、必要事項を入力後、送信ください。

環境経営学会事務局にて参加登録を確認後、請求書をご指定のメールアドレスに送信しますので、指定させていただきます口座への入金をお願いします。

参加登録用 URL

<https://forms.gle/QBve4dp9ySZotcxp6>



■ **お問い合わせ先**

認定特定非営利活動法人 環境経営学会事務局

E-mail : [smf@smf.gr.jp](mailto:smf@smf.gr.jp)

TEL : 03-6824-9371（平日 9：00～17：00）